

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～



長崎市立三原小学校

「誇りをもち、主体的で、自律できる子どもの育成」

～安全・安心を大切に作る三原っ子～



MIHARA TIMES

令和6年10月30日発行

文責 校長 増崎 祥宣

がんばった小体会。

10月16日（水）、心配していた雨も降ることなく、雲一つない青空の下、逆に熱中症の心配をする程のいい天気の中、第62回長崎市小学校体育大会（小体会）が行われました。三原小学校の6年生は、陸上競技、球入れ、男女サッカーに出場しました。全員がこれまでの練習の成果を発揮し、すばらしい成績を収めることができました。成績は、男子100m走第2位、女子100m走第2位、女子50mハードル走第1位、男子50mハードル走第4位、女子走り幅跳び第1位、球入れ第1位（前半、後半どちらもパーフェクト、三原小のみ）、男子サッカー全試合引き分け（PKにより決勝進出ならず）、女子サッカー第1位。と、すばらしい成績でした。3位以上は賞状をもらいましたが、賞状をもらえなかった児童も自己ベストの記録を出したり、1点も取られないディフェンスをしたりと十分に活躍をしていました。

このような結果を出すことができたのは、一人一人が1か月間の練習に熱心に取り組んだことはもちろんですが、まわりの人の支えも大きかったようです。忙しい中でも一生懸命に指導をしてくれた先生方。6年生が練習の時間をたくさんとれるようにと朝のボランティアを進んで交代してくれた5年生。ペアの6年生に励ましのメッセージカードを送った1年生。そして、励ます会での1年生から5年生の応援は、6年生にとって大きな励みになったようです。会場まで駆けつけてくれて応援をさせていただいた保護者の方々にも感謝しています。

これだけの力を発揮することができる三原小の子どもたちです。次の活動でも、それぞれの学年が助け合いながら充実した活動にしてくれることを期待しています。



町たんけんに行きました。2年生。

生活科の町たんけんでは2年生が扇堂、ナカムラ和洋菓子店、セブンイレブン、郵便局に行きました。

お店の方から取組や工夫などを説明していただき、実際に中も見せてもらいました。それぞれのお店がお客さんのことを考えて仕事をしていることを学ぶことができました。

子どもたちは、考えてきた質問に答えてもらいながら、それぞれの場所の役割と取組について理解を深めることができました。

